

○アンケートの概要

【アンケートの目的】

次期「旭川市雪対策基本計画」の策定に向けた検討を進めるにあたり、これまでの雪対策の取組の評価や今後の雪対策の課題への対応について、市民意見の聴取を行うため

【調査方法】

(1) 一般市民向け（以降、「無作為」と表記）

無作為抽出法により選んだ旭川市民 3,000 人（令和 8 年 4 月 1 日時点で 18 歳以上である男女 1,500 人ずつ、男女ごとに市内 9 地区の人口割合に従って地区ごとの抽出数を決定。）を対象に、アンケート調査票、返信用封筒を郵送し、返送を依頼しました。また、専用フォームによる回答も受け付けました。

(2) 地区除雪連絡協議会の会員向け（以降、「除連協」と表記）

市内 9 地区の「地区除雪連絡協議会」会員（各地域の代表として参画している市民委員会の役員と町内会長）を対象に、依頼文とアンケート調査票、返信用封筒等を郵送し返送を依頼しました。また、専用フォームによる回答も受け付けました。

【調査期間】

令和 8 年 6 月 1 7 日（水）から 7 月 1 7 日（金）まで

【回答数】

1, 8 7 9 件

※令和 8 年 7 月 2 7 日（月）到着分まで

表 1 アンケート回答数

年代	紙回答	フォーム回答	回答数（合計）	発送数	回答率
無作為	1,015	321	1,336	3,000	45%
除連協	475	68	543	1,317	41%
計			1,879	4,317	

【調査結果の表し方】

回答率の百分率は少数第 1 位を四捨五入し、整数で表示しているため、回答率の合計が 100%にならない場合があります。

○回答者自身のことについて

〈Q1〉 あなたの年齢（年代）を教えてください。（1つ選択）

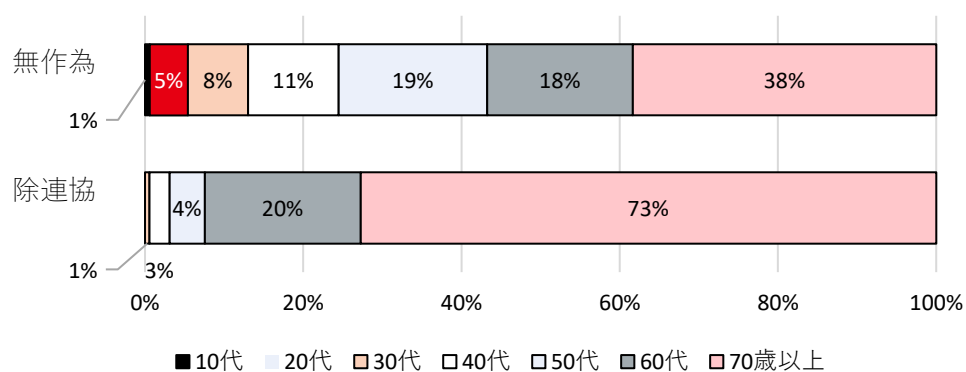


図 1 回答者の年齢（年代）割合（無作為 n=1,327、除連協 n=543）

表 2 「無作為」の年代別回答率（参考）

年代	推定発送数	有効回答数	回答率
10代	53	8	15%
20代	266	64	24%
30代	298	101	34%
40代	424	152	36%
50代	505	249	49%
60代	457	244	53%
70歳以上	997	509	51%
不明		9	
計	3,000	1,336	45%

注：発送数は各年代の人口割合より推定

（旭川市住民基本台帳、令和8年4月1日現在の年齢別人口より）

推定式 = 3,000件 × （各年代の人口） ÷ （18歳以上の総人口）

〈Q2〉地図を見て、あなたのお住まいの地区を教えてください。（1つ選択）

表 3 回答者の居住地区

地区名	有効回答数	割合
豊岡・東旭川	252	13%
東光	227	12%
神楽・緑が丘・西神楽	237	13%
神居	165	9%
中央	172	9%
北星・江丹別	152	8%
春光・春光台・鷹の巣	187	10%
末広・東鷹栖	181	10%
永山・新旭川	294	16%
不明	12	
合計	1,879	100%

表 4 「無作為」の地区別回答率（参考）

地区名	発送数	有効回答数	回答率
豊岡・東旭川	340	165	49%
東光	448	168	38%
神楽・緑が丘・西神楽	355	163	46%
神居	274	116	42%
中央	254	117	46%
北星・江丹別	282	99	35%
春光・春光台・鷹の巣	254	128	50%
末広・東鷹栖	303	148	49%
永山・新旭川	490	220	45%
不明		12	
計	3,000	1,336	45%

注：発送数は各地区の人口割合より決定

（旭川市住民基本台帳、令和8年4月1日現在の市民委員会別人口より）

決定式 = 3,000件 × （各地区の人口） ÷ （総人口）

〈Q3〉 冬期に主に使用する交通手段を教えてください。（特にあてはまるもの1つを選択）

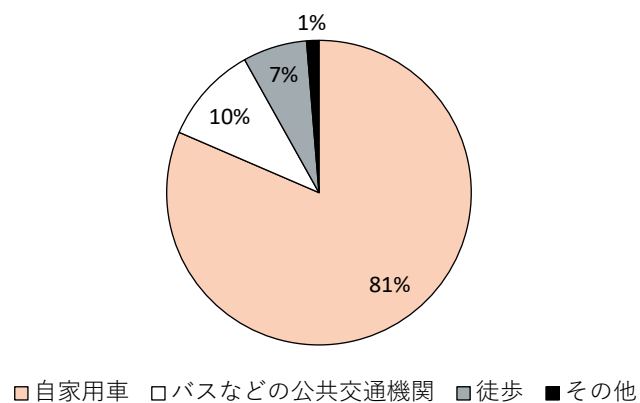


図 2 回答者の主な交通手段 (n=1,836)

〈Q4〉 あなたのお住まいはどのような形態ですか。（1つ選択）

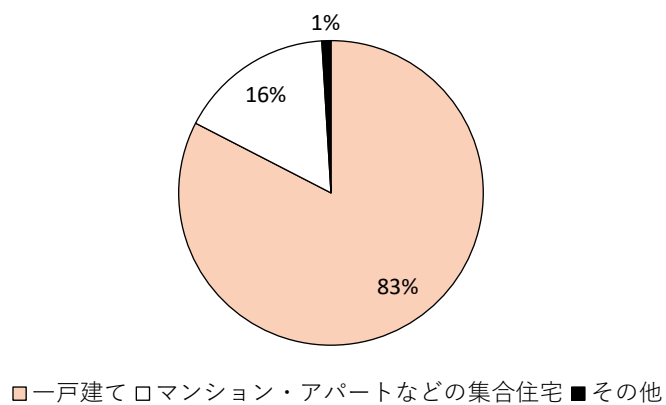


図 3 回答者の居住形態 (n=1,870)

〈Q5〉 あなたのご家庭で、主に除雪を行っているのはどなたですか。（1つ選択）

表 5 回答者の家庭の除雪状況 (n=1,857)

選択肢	回答率
自分又は同居の家族	91%
別居の家族や親類	1%
近隣の方	1%
除雪の必要がない（集合住宅など）	5%
その他	2%
計	100%

〈Q6〉あなたのご家庭で、除雪や屋根の雪下ろしで発生した雪（敷地内に降り積もった雪）を、主にどのように処理していますか。（特にあてはまるもの1つを選択）

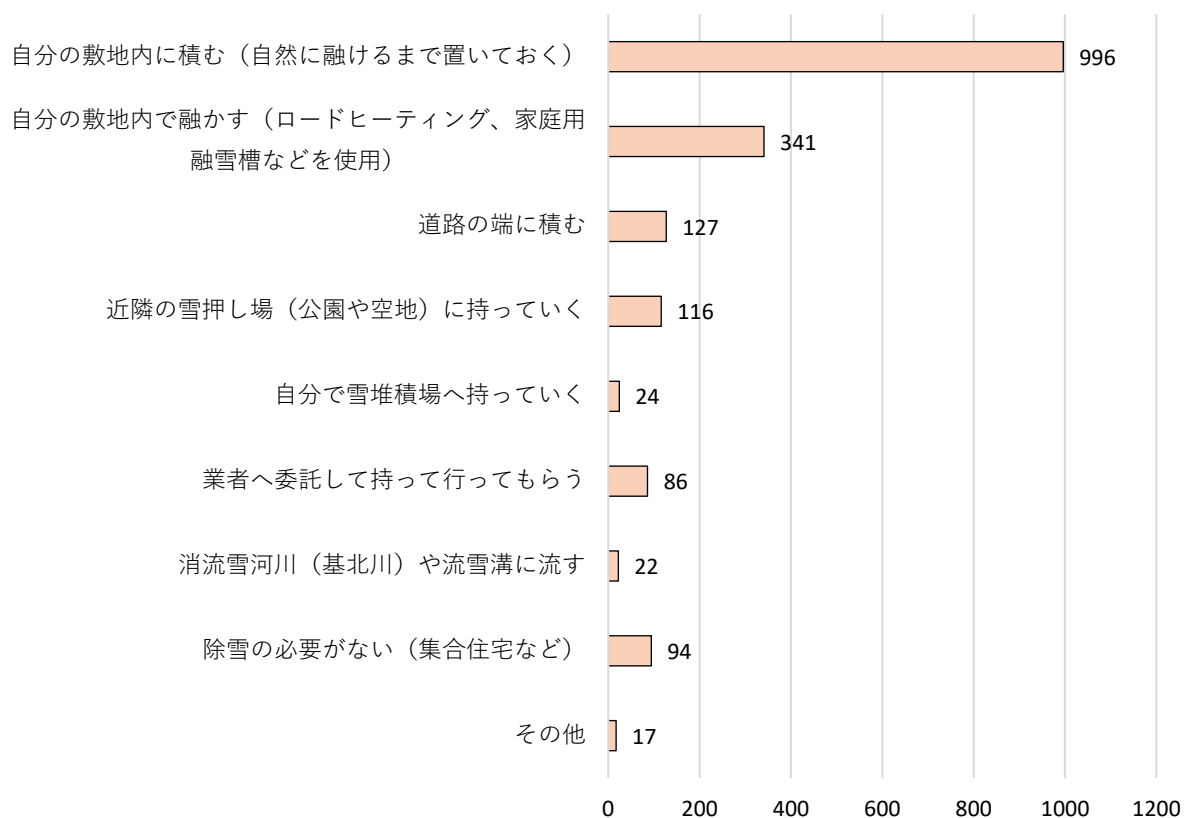


図 4 回答者の敷地内の雪処理状況（n=1,823）

〈Q7〉現在所有している「ロードヒーティング、家庭用融雪槽、小型除雪機」はありますか。（あてはまるものすべてを選択）

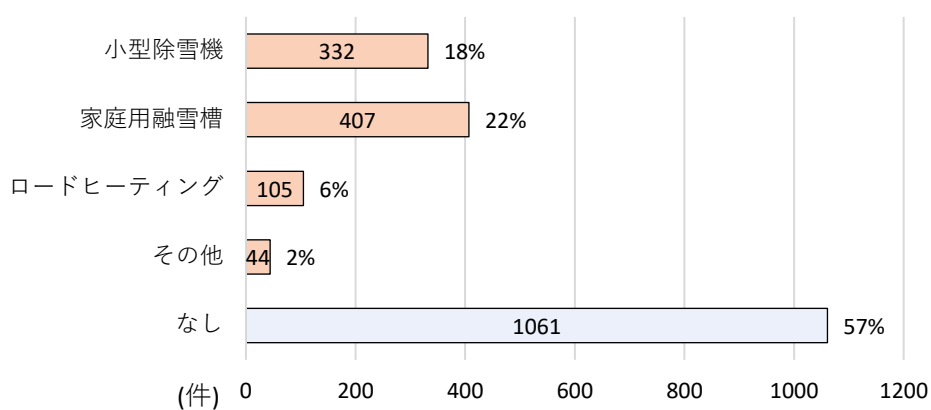


図 5 回答者の除雪機・融雪機等所有状況（n=1,852）

〈Q8～Q11〉 旭川市の除雪等について、どう思いますか？（1つ選択）

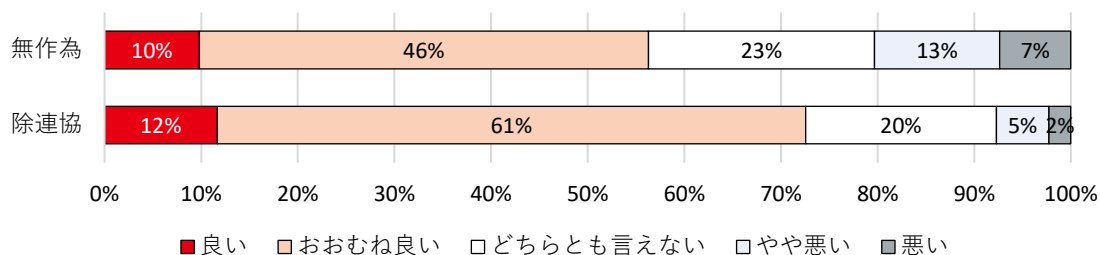


図 6 Q8「幹線道路」の除雪への評価（無作為 n=1,304、除連協 n=532）

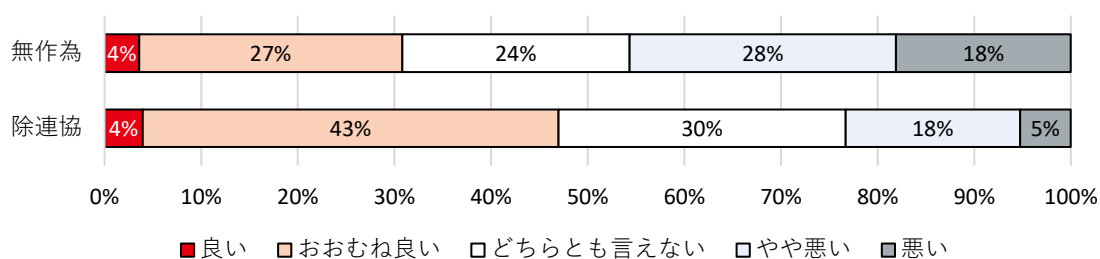


図 7 Q9「生活道路」の除雪への評価（無作為 n=1,305、除連協 n=532）

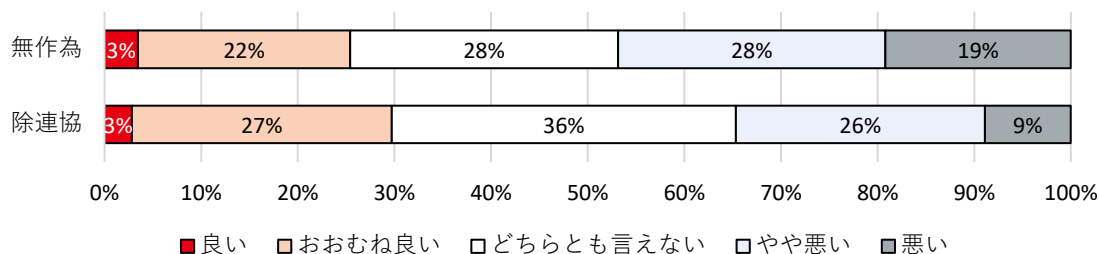


図 8 Q10「歩道」の除雪への評価（無作為 n=1,298、除連協 n=528）

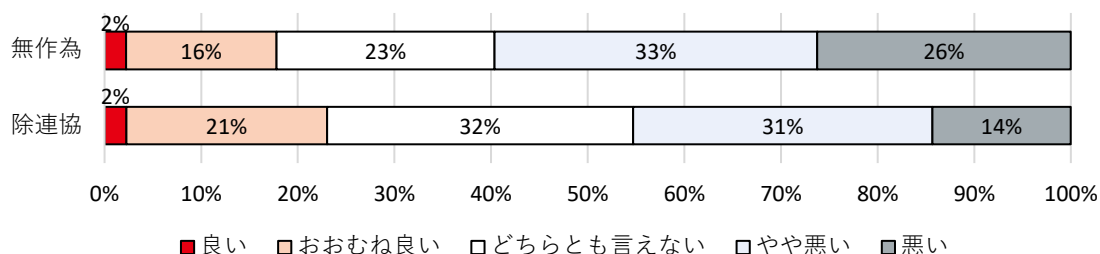


図 9 Q11「交差点の見通し」への評価（無作為 n=1,303、除連協 n=530）

〈Q12〉 旭川市の除雪状況を総合的に見て、どう思いますか？（1つ選択）

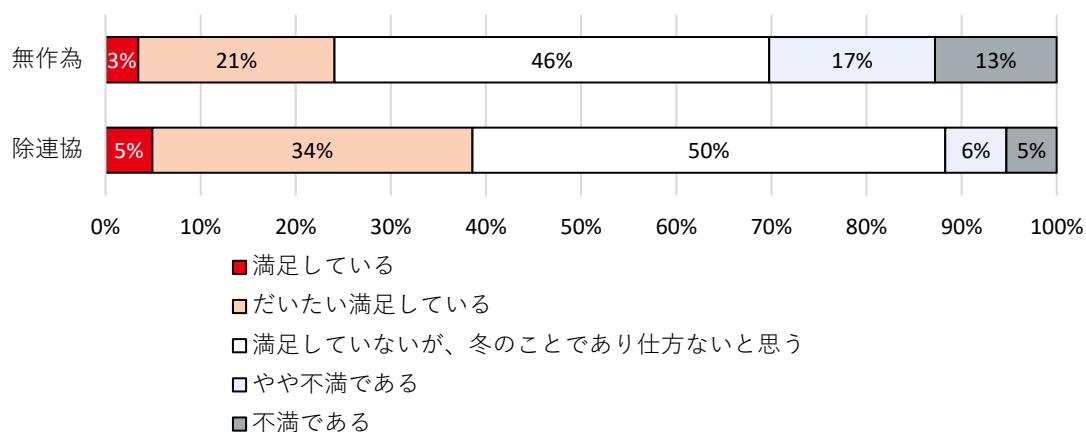


図 10 除雪状況への満足度（無作為 n=1,304、除連協 n=529）

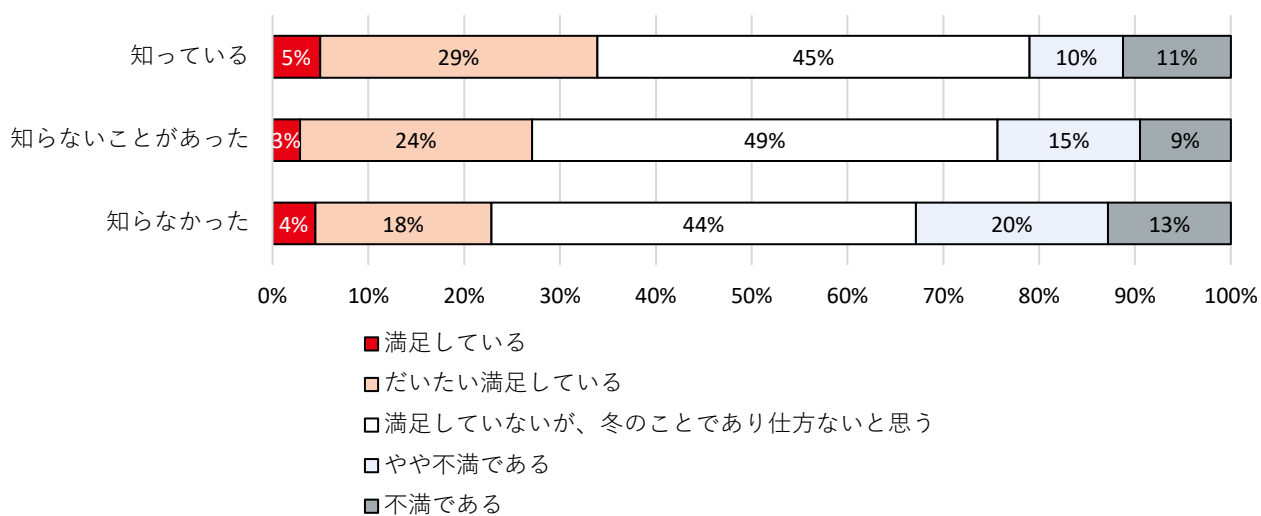


図 11 除雪状況への満足度（Q16「旭川市の除排雪の仕組み」の理解度別）

〈Q13〉 令和5年9月に施行した「旭川市雪対策基本条例」では、敷地内の雪をみだりに道路に出してはならないと定めています。

自宅や会社など敷地内の雪を車道や歩道に出す「雪出し」は、道路法や道路交通法という法律で禁じられていることをご存じですか？（1つ選択）

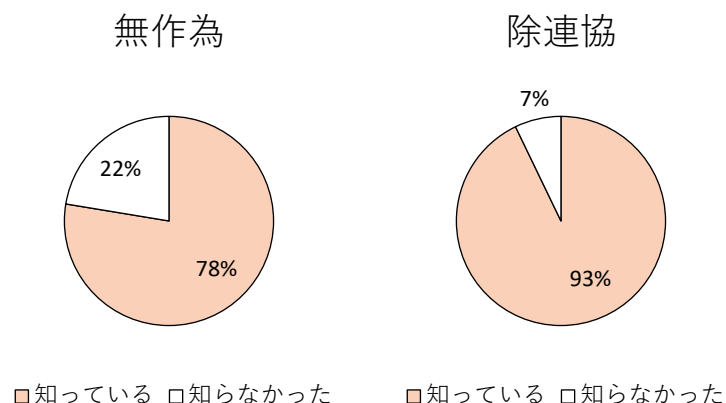


図 12 雪出し行為が法律違反との認知度（無作為 n=1,308、除連協 n=531）

〈Q14〉 旭川市では、市や地域の除雪センターで「雪出し」行為に関する相談を受け付けし、パトロールの実施やチラシの配布、原因者が特定できた場合は指導などの対応を行っています。

あなたはこれまでに「雪出し」を見たことや、対応したことがありますか？（1つ選択）

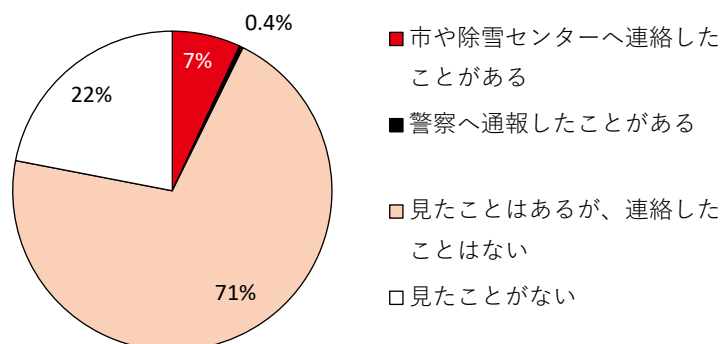


図 13 雪出しを見たことがある・対応したことがある人の割合（n=1,821）

〈Q15〉 令和5年9月の条例の施行から、「雪出し」が減ったと感じますか？（1つ選択）

（※Q14で「見たことがない」と回答した人以外への設問）

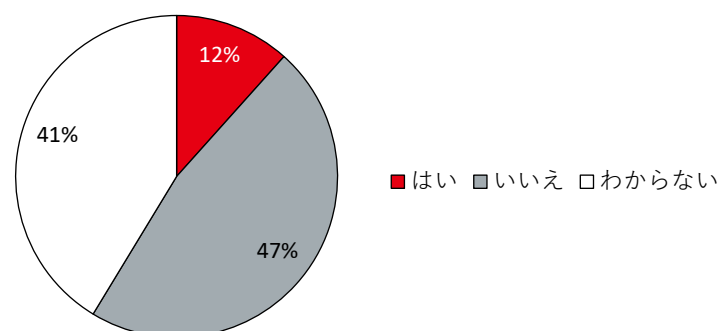


図 14 雪出しが減ったと感じている人の割合（n=1,428）

○旭川市の雪対策の課題について

(1) 将来的に安定した除排雪体制の確保

〈Q16〉 旭川市の除排雪作業の仕組みや、除排雪の水準（出動基準、管理基準など）についてご存じでしたか？
（1つ選択）

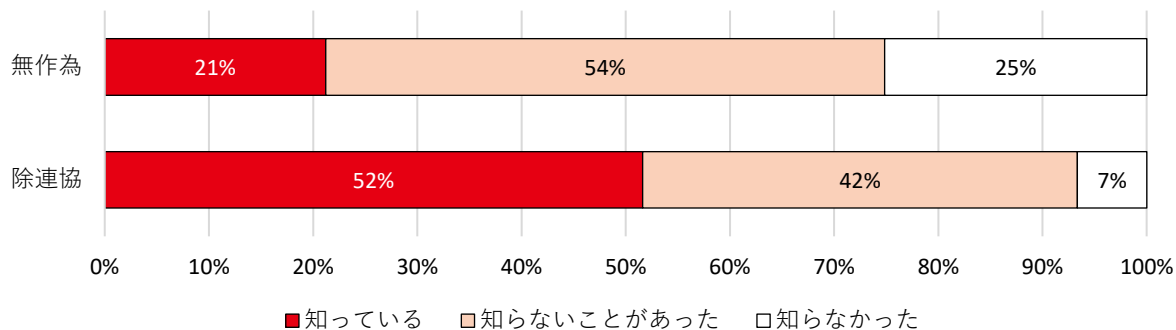


図 15 「旭川市の除排雪の仕組み」の理解度（無作為 n=1,292、除連協 n=527）

〈Q17〉 雪を置くスペースが限られている生活道路では、路面を圧雪管理することで雪山の大きさを抑えています。あなたが重要視することは、次の中でどれに近いですか？（1つ選択）

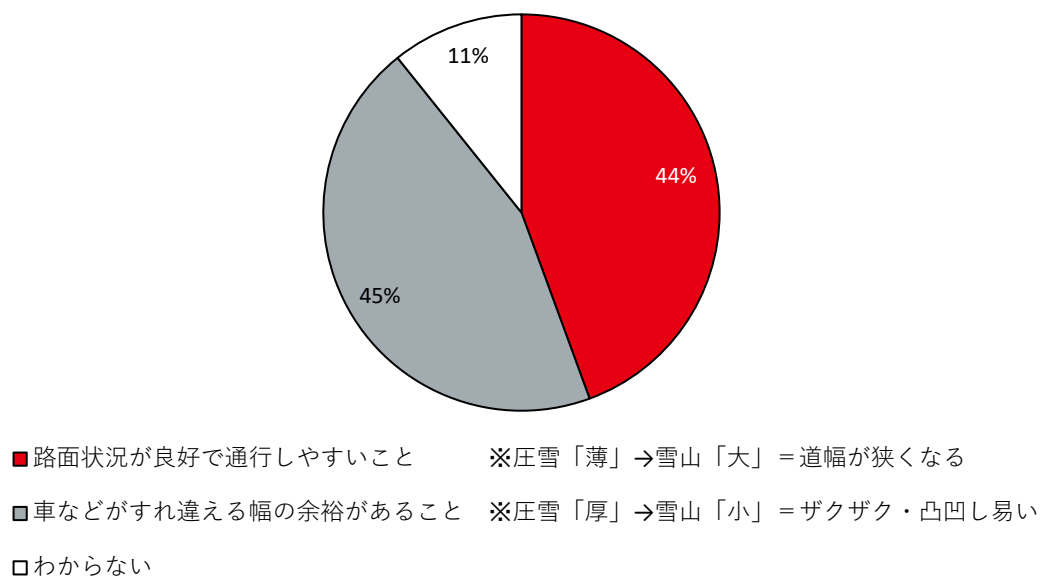


図 16 生活道路で重要視すること（路面状況⇔道幅）（n=1,833）

〈Q18〉 除雪費が増大していることや、担い手不足等の状況についてご存じでしたか？（1つ選択）

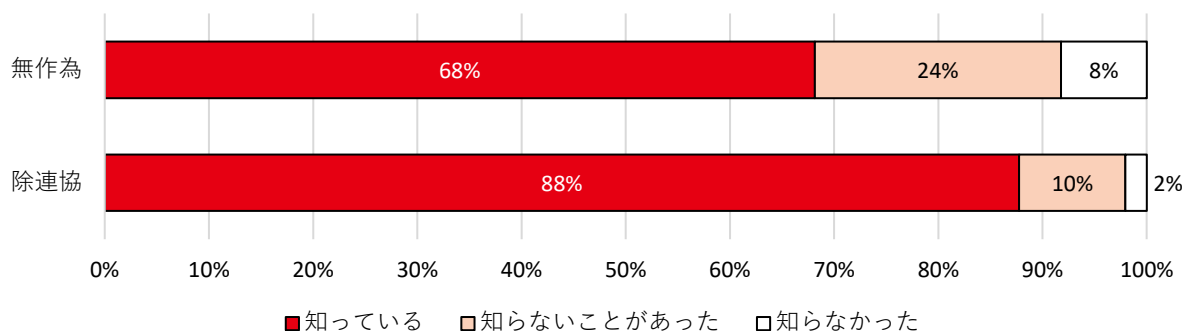


図 17 「雪対策をとりまく現状と課題」の認知度（無作為 n=1,312、除連協 n=539）

〈Q19〉 雪対策をとりまく現状から、現在の除排雪水準や除排雪体制を維持することが難しくなっていくことが想定されるため、様々な観点から対策の検討を進めていく必要があります。

旭川市では、できる限り現在の水準や体制を維持できるよう、応援体制の強化や除雪センターの統合など合理的な業務体制の構築に取り組んでいます。

将来にわたり安定して除排雪を行っていくために、どのような取組が必要だと思いますか？（最大2つまで回答）

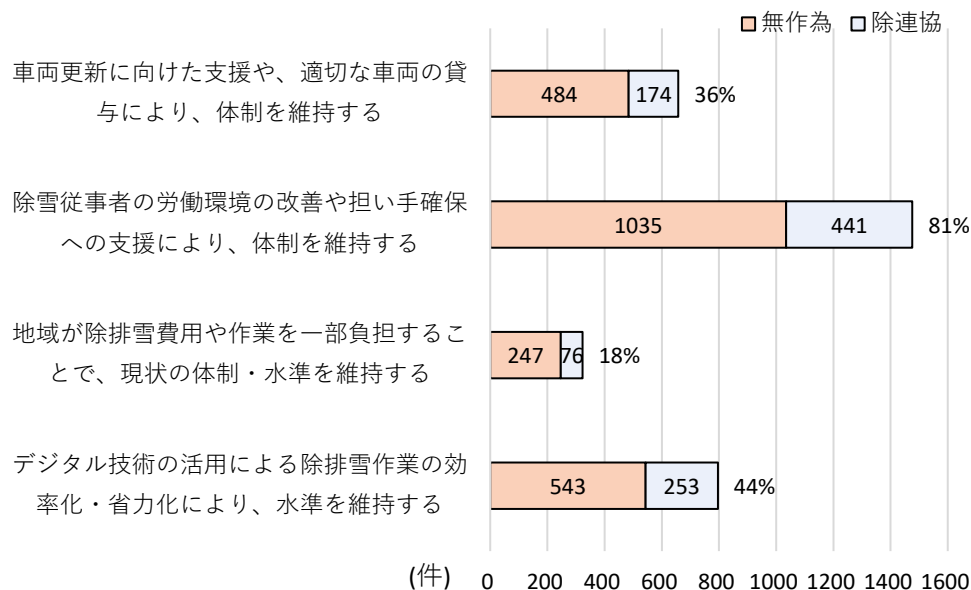


図 18 除排雪水準や体制を維持するために必要だと思うもの（無作為 n=1,292、除連協 n=534）

（２）暴風雪や豪雪への対応強化

〈Q20〉 市民の安全や生活を守るために、除排雪作業以外で、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。
（最大３つまで回答）

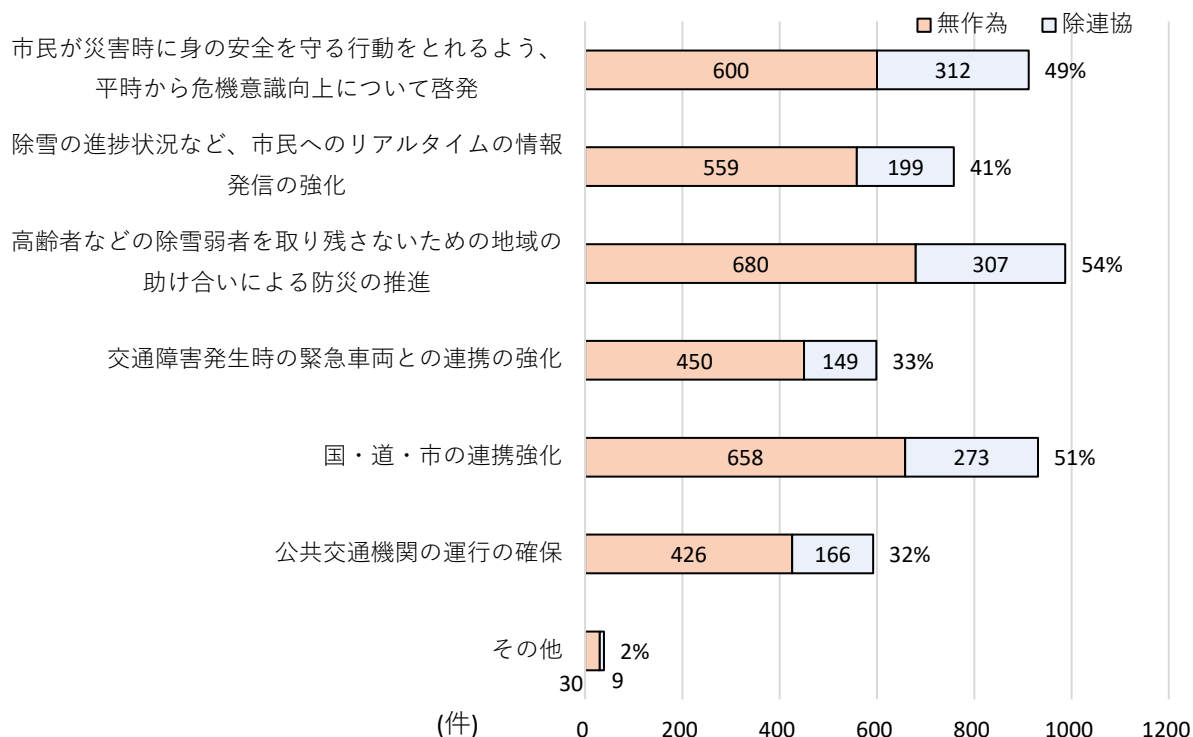


図 19 市民の安全や生活を守るために力を入れるべきだと思うもの（無作為 n=1,306、除連協 n=537）

(3) 地域除雪活動（市民協働）の推進

〈Q21〉 お住まいの地域では、地域除雪活動を行っていますか。（1つ選択）

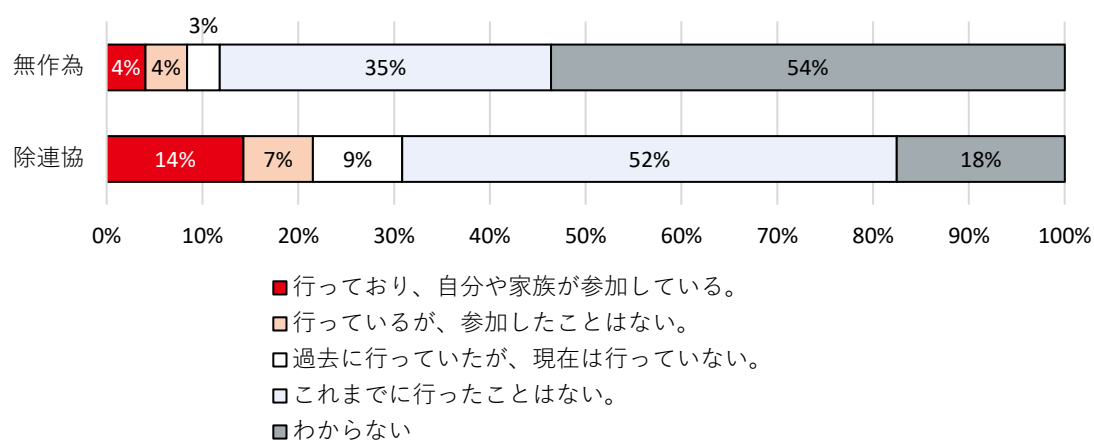


図 20 地域除雪活動の状況（無作為 n=1,287、除連協 n=525）

〈Q22〉 地域除雪活動に参加したいと思いますか。（1つ選択）

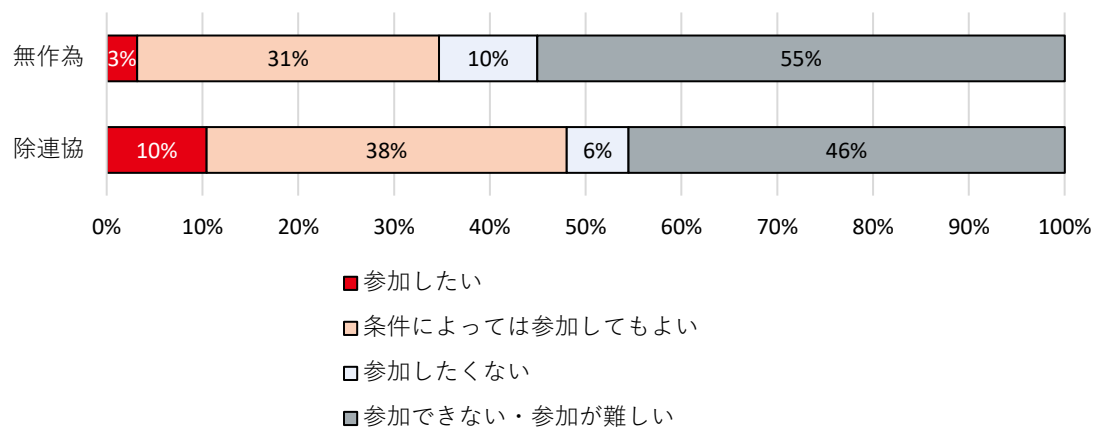
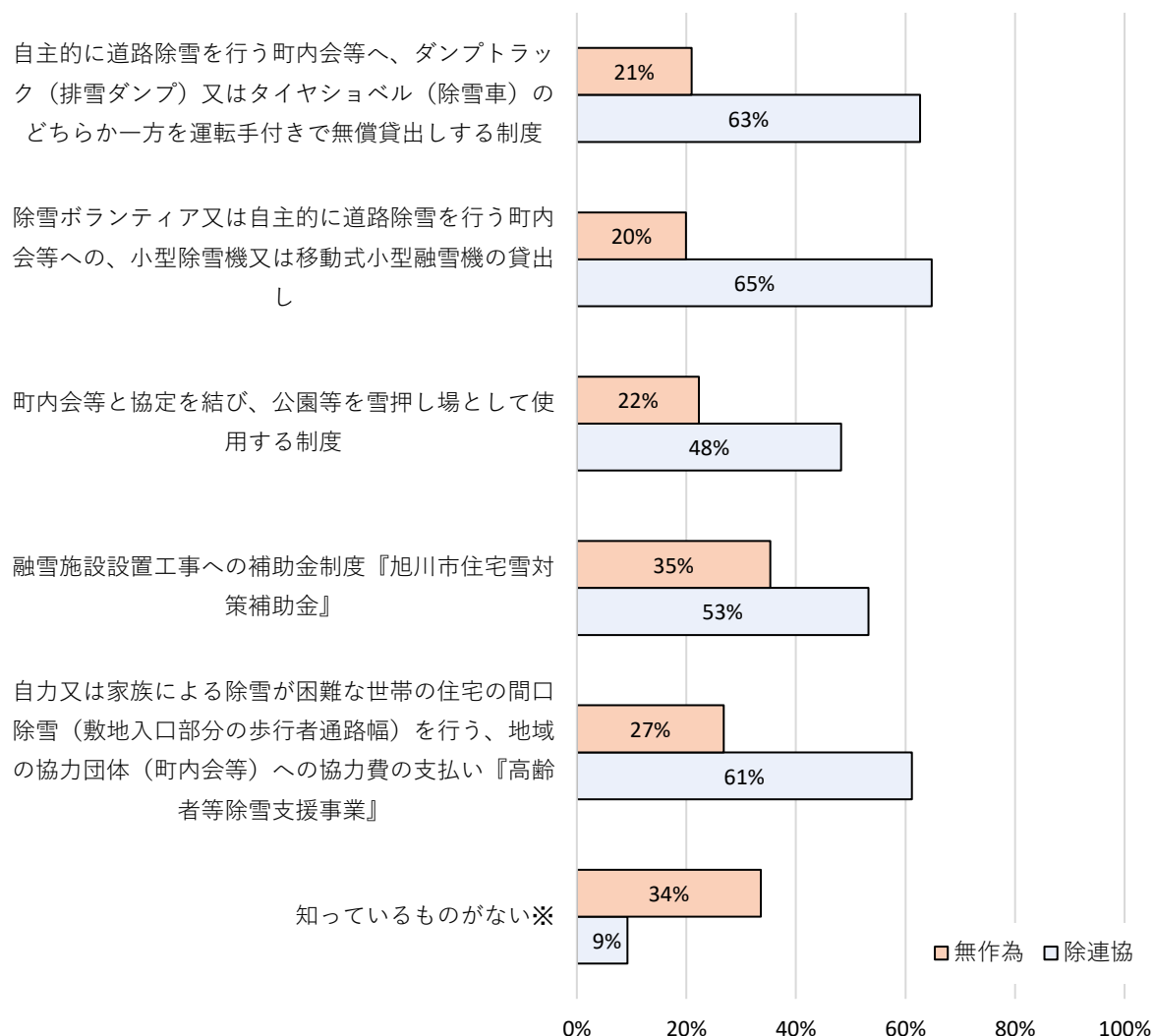


図 21 地域除雪活動に参加したいと思う人の割合（無作為 n=1,286、除連協 n=527）

表 6 「無作為」で地域除雪活動に参加したいと思う人の年齢別割合（参考）

年代	有効回答数	参加したい/ 条件によっては 参加してもよい	参加したくない/ 参加できない・ 参加が難しい
10代	8	63%	38%
20代	64	44%	56%
30代	100	32%	68%
40代	151	40%	60%
50代	243	37%	63%
60代	237	35%	65%
70歳以上	473	30%	70%
計	1,276		

〈Q23〉 旭川市では、市民や地域が主体となっていく雪対策の取組に対して、様々な支援を行っています。本市が行っている次の制度のうち、知っているもの全てを選択してください。



※「Q22とQ24は回答しているが、Q23は未回答」を「知っているものがない」として集計。

図 22 地域除雪活動への支援制度の認知度（無作為 n=1,260、除連協 n=520）

〈Q24〉 地域除雪活動を推進するためには、どのようなことが必要だと思いますか？（最大2つまで回答）

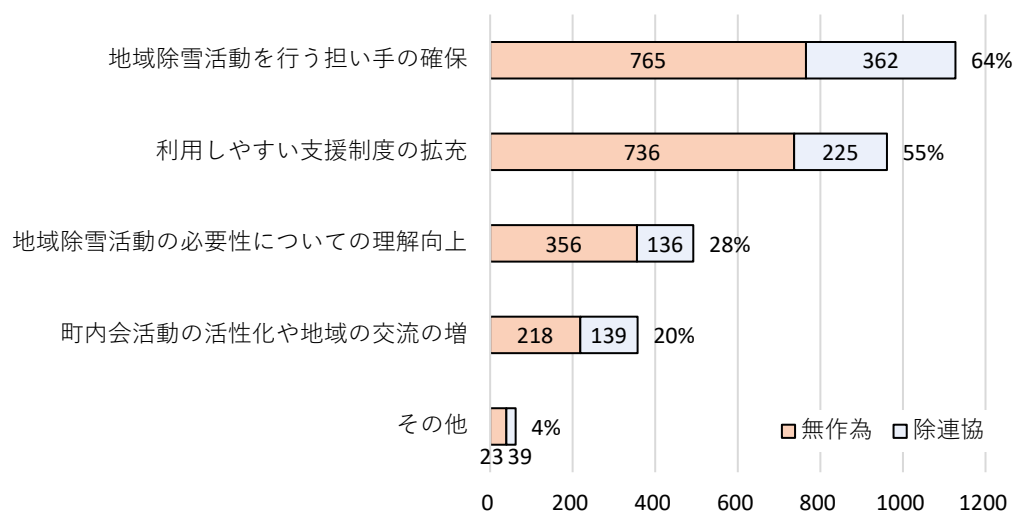


図 23 地域除雪活動を推進するために必要だと思うもの（無作為 n=1,246、除連協 n=515）

（4）除雪弱者への支援体制の推進

〈Q25〉 自力又は家族による除雪が困難な世帯への支援体制の推進のため、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか？（最大2つまで回答）

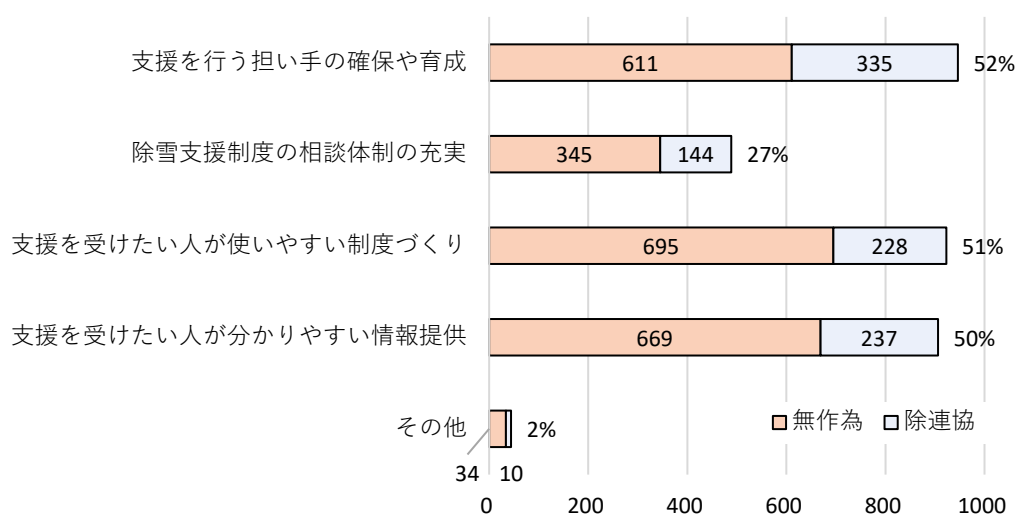


図 24 支援体制の推進のために必要だと思うもの（無作為 n=1,291、除連協 n=526）

(5) 情報共有体制の推進

〈Q26〉 旭川市が配信しているスマートフォン・タブレット端末向けアプリ「くらしのアプリ」に、除排雪の改善要望に関わる通報フォームが設けられていることを知っていますか？（1つ選択）

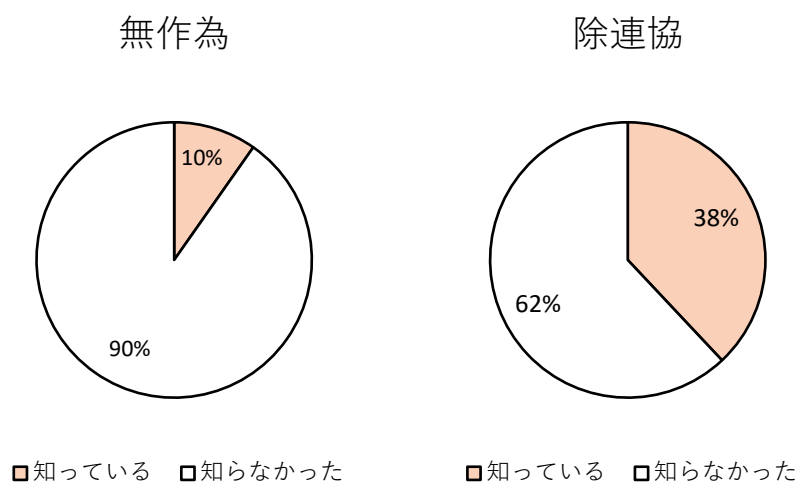
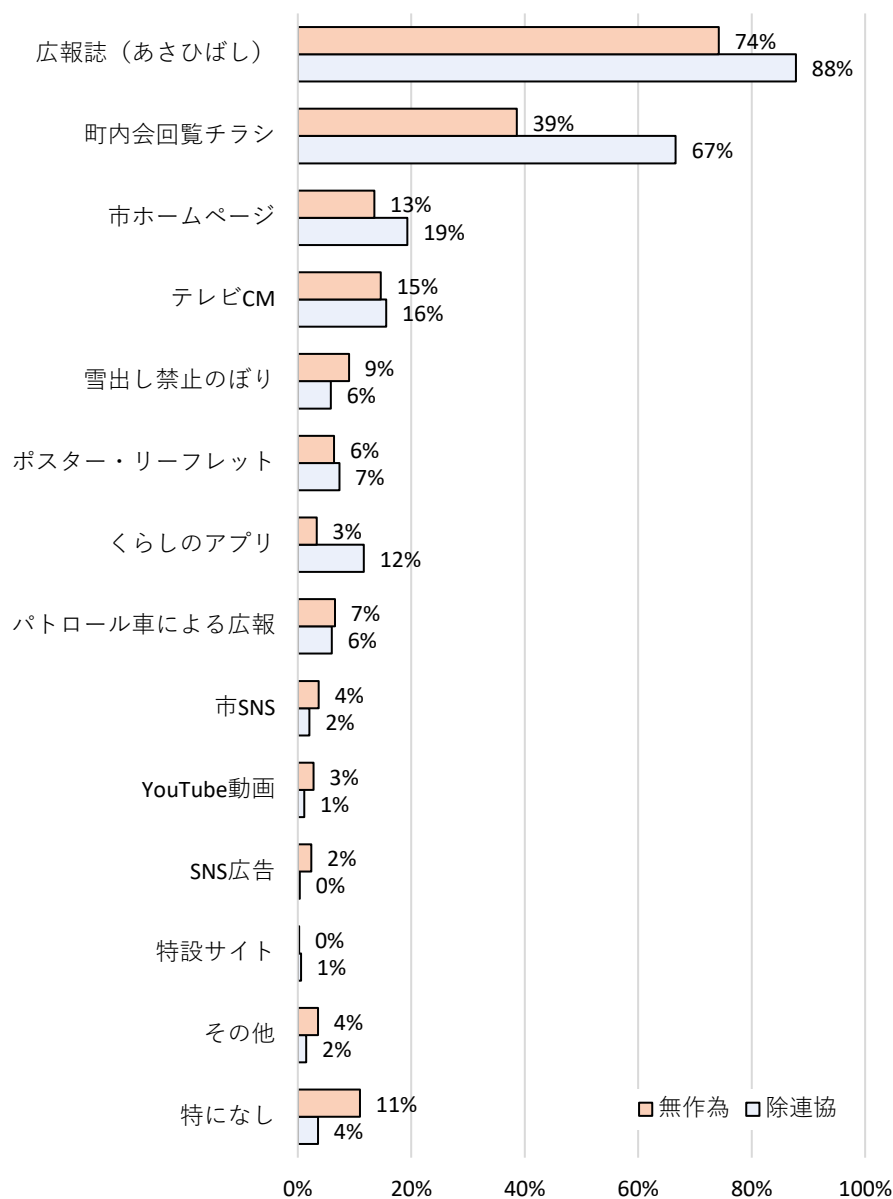


図 25 「くらしのアプリ」内の除排雪通報フォームの認知度（無作為 n=1,293、除連協 n=529）

〈Q27〉令和7年度は、除排雪の仕組みや雪処理のルール・マナーの周知啓発に取り組むため、広報誌への連載企画や、テレビCM放映・特設サイトなどの広報プロモーションによる雪対策の情報発信の強化に取り組みました。

見聞きした情報発信媒体の中で、印象に残ったものを3つまで選んでください。（最大3つまで回答）

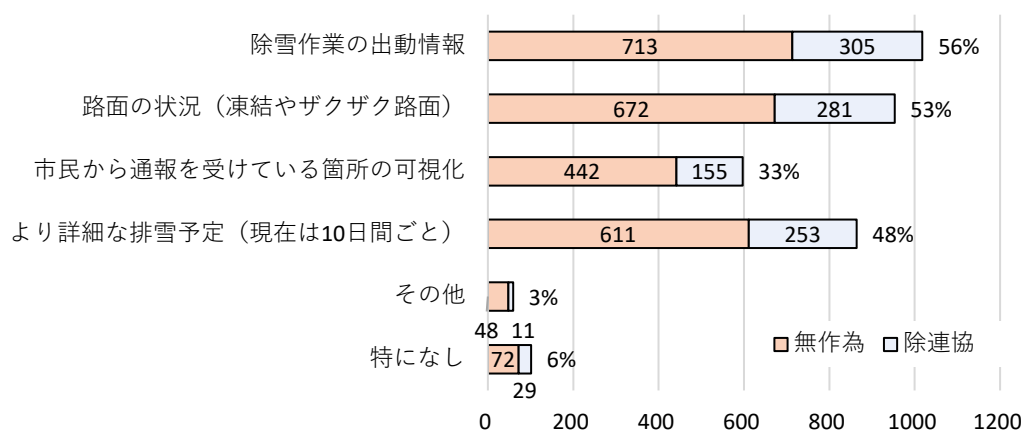


※紙回答に「特になし」の選択肢がないため、
「Q28またはQ29を回答しているが、Q27は未回答」を「特になし」として集計。

図 26 印象に残った情報発信媒体（無作為 n=1,298、除連協 n=533）

〈Q28〉市ホームページでは、生活道路エリアの 10 日間ごとの排雪計画や完了状況、「除雪情報提供システム」による除雪車の走行経路の公開など、除排雪の進捗状況が分かる情報提供を行っています。

今後は、どのような情報の提供を希望しますか？（いくつでも選択可）

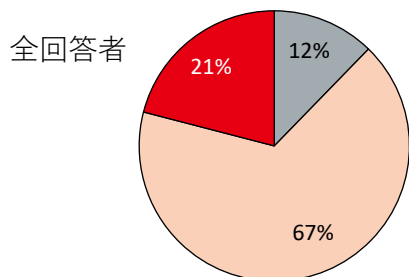


※紙回答に「特になし」の選択肢がないため、
「Q29は回答しているが、Q28は未回答」を「特になし」として集計。

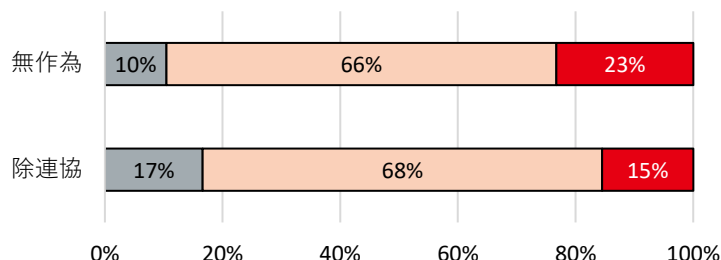
図 27 今後どのような情報の提供を希望するか（無作為 n=1,285、除連協 n=530）

〈Q29〉人口減少による税収の減少や、除排雪企業の担い手確保が課題となっている中で、旭川市の冬の暮らしを維持していくためには、行政、除排雪企業、市民がそれぞれの役割を踏まえながら、今後の冬期生活のあり方を様々な観点で検討していく必要があります。

あなたの意見に最も近いものを1つ選んでください。（1つ選択）



- ア 一定の不便さを受け入れる冬期生活
- イ 現行の除排雪水準を維持した冬期生活
- ウ より快適な冬期生活



ア 雪対策を取り巻く現状や課題を踏まえ作業量の縮小など除排雪水準を見直し、除排雪費用の抑制を図り、一定の不便さを受け入れる冬期生活を目指すべき

イ 作業の効率化・省力化や各種支援制度の充実、市民・地域との協働により、除排雪費用の増加をできる限り抑えながら、現行の除排雪水準を維持した冬期生活を目指すべき

ウ 増加する除排雪費用や除排雪作業の一部を市民が負担（分担）することにより除排雪体制を充実させ、現在よりも高い除排雪水準を確保し、より快適な冬期生活を目指すべき

図 28 今後の冬期生活のあり方について回答者の意見に近いもの（無作為 n=1,234、除連協 n=517）

〈Q30〉 近年の除排雪について、どのような点が評価できると感じますか。（最大3つまで回答）

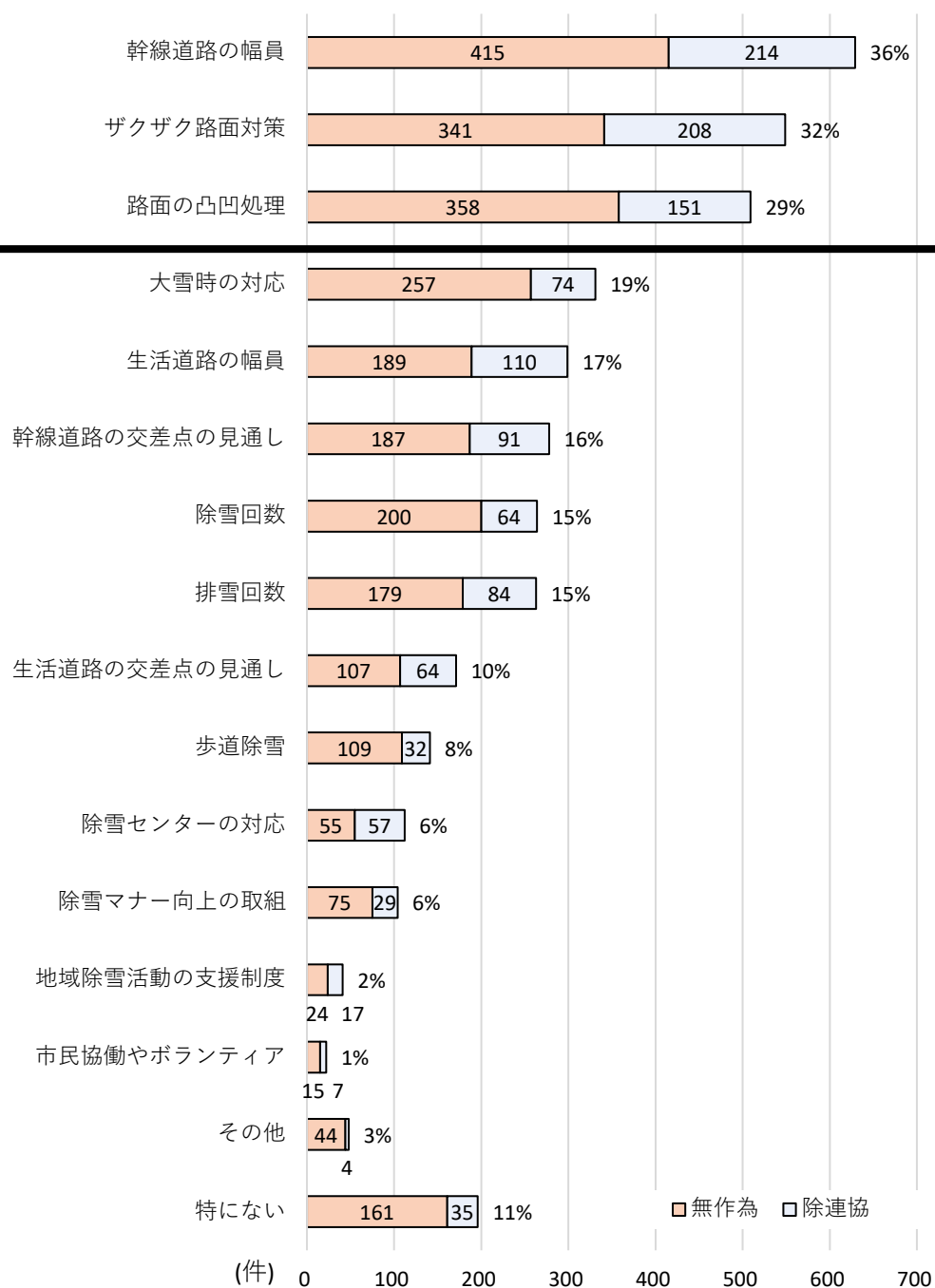


図 29 近年の除排雪について評価できる点（無作為 n=1,221、除連協 n=509）

〈Q31〉 これからの除排雪においては、どのようなことを優先していきべきだと思いますか。（最大 3 つまで回答）

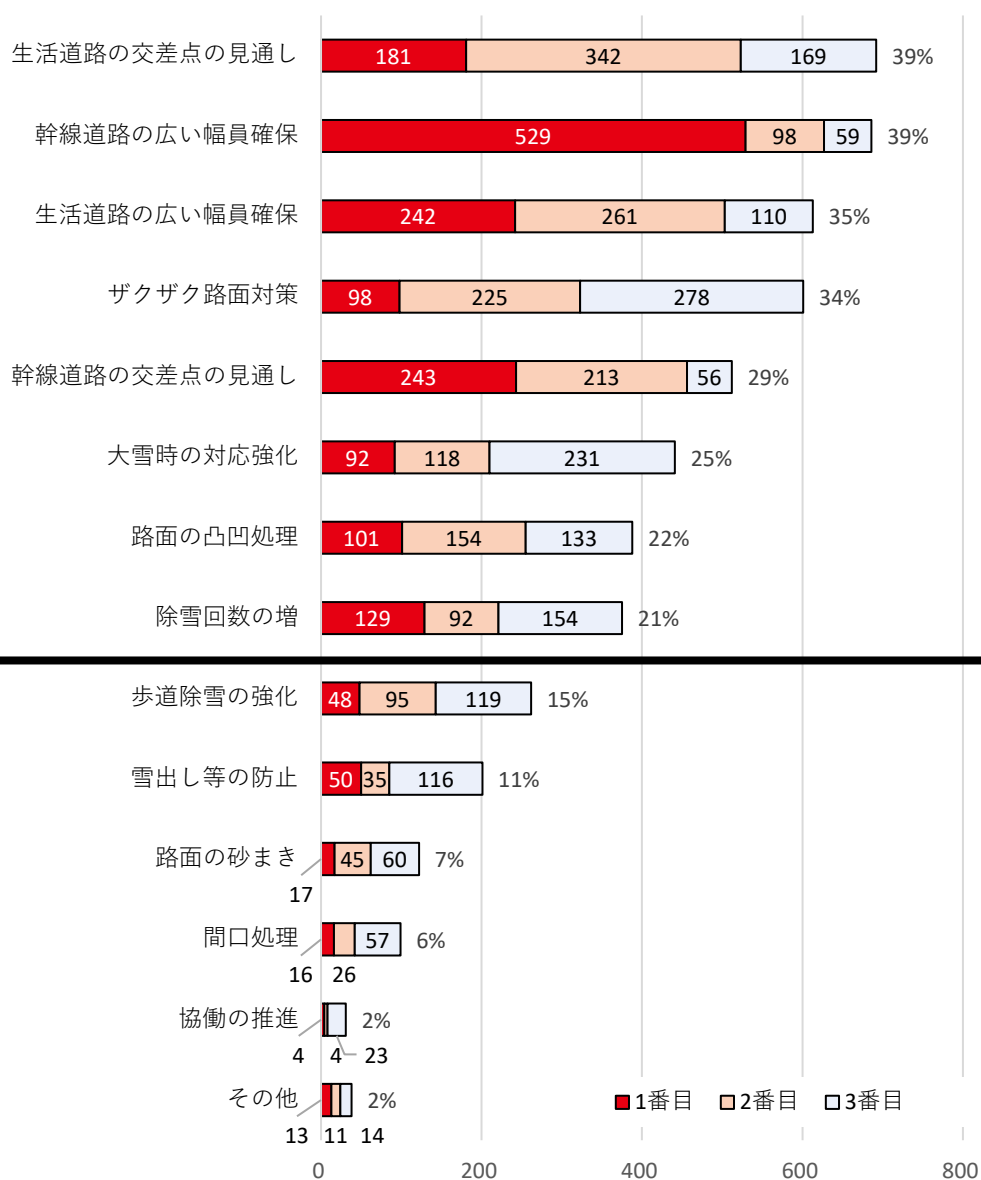


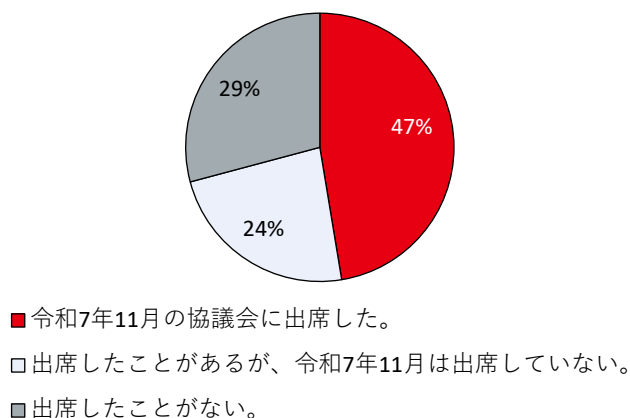
図 30 これからの除排雪において優先すべきだと思うもの（合計数が多い順）
（無作為 n=1,252、除連協 n=511）

〈Q32〉 道路除排雪や雪対策など全般について、ご意見などがありましたらお聞かせください。（ご意見の内容に当てはまるジャンルを選択、5 つまで選択可）

（集計中）

○地区除雪連絡協議会会員の皆様へ

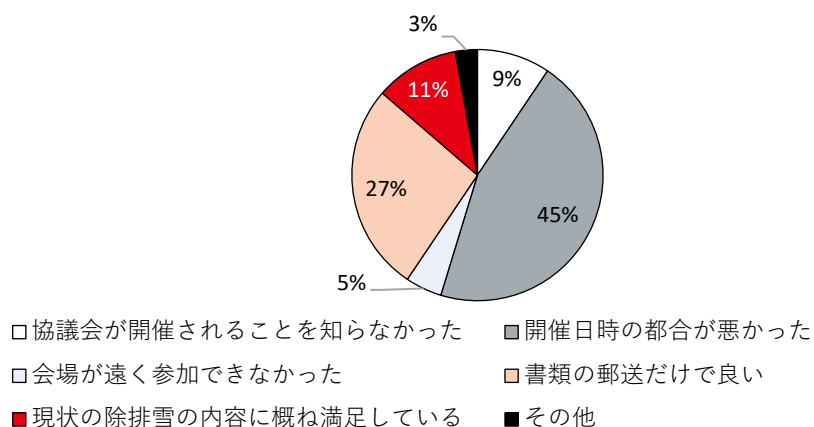
〈Q33〉 お住まいの地区の地区除雪連絡協議会に出席していますか？（1つ選択）



注：Q34で「その時点で協議会委員ではなかった」と回答した人を除いて集計

図 31 回答者の地区除雪協議会出席状況（n=423）

〈Q34〉令和7年11月の協議会に出席されていない方にお尋ねいたします。出席されなかった理由は何ですか？（1つ選択）



注：Q34で「その時点で協議会委員ではなかった」と回答した人を除いて集計

図 32 地区除雪連絡協議会に出席しなかった理由（n=212）

〈Q35〉今後の地区除雪連絡協議会に対して、望むことを教えてください。

（集計中）

取組や方向性

〈Q12〉除雪状況への満足度 ・「不満である」「やや不満である」 …除排雪の仕組みを「知らなかった＞知らないことがあった＞知っている」の順で減少 〈Q16〉旭川市の除排雪作業の仕組みや、除排雪の水準（出動基準、管理基準など）を知っていたか ・「知らないことがあった」「知らなかった」…合わせて約8割 〈Q17〉生活道路の路面状況と道幅、どちらを重要視するか ・「路面状況が良好で通行しやすいこと」「車などがすれ違える幅の余裕があること」…道幅が路面状況と同じく約45%	⇒ 除排雪の仕組みを理解しているほど、除雪状況への不満度が低い。 除排雪の仕組みについて、市民にあまり理解されていない。 ⇒除排雪の仕組みについて、<u>理解度向上に向けた市民周知の強化が必要。</u>
〈Q18〉除雪費が増大していることや、担い手不足等の状況について知っていたか ・「知っている」…約7割 〈Q19〉将来にわたり安定して除排雪を行っていくために必要だと思う取組 ・「除雪従事者の労働環境の改善や担い手確保への支援により、体制を維持する」…約8割	⇒ 市民にもある程度、雪対策をとりまく現状と課題が認識されている。 ⇒ 市民は特に、<u>除雪従事者の確保に向けた支援が必要だ</u>と考えている。
〈Q21〉住んでいる地域で地域除雪活動を行っているか ・「わからない」…半数以上 ・「行っており、自分や家族が参加している」…4% 〈Q22〉地域除雪活動に参加したいと思うか ・「参加したい」「条件によっては参加してもよい」…合わせて34% 〈Q24〉地域除雪活動を推進するために必要だと思う取組 ・除連協で最も多い回答…「地域除雪活動を行う担い手の確保」 〈Q25〉自力又は家族による除雪が困難な世帯への支援体制の推進のために必要だと思う取組 ・除連協で最も多い回答…「支援を行う担い手の確保や育成」	⇒ 市民の認知度が低く、参加してもよいという人と実際に参加している人の割合の差が大きい。町内会等の住民組織にて地域での担い手不足の課題が強く意識されている。 ⇒認知度の向上、参加しやすい仕組みづくりなど、<u>地域の除雪の担い手確保に向けた取組の推進が必要。</u>

目指すべき冬期生活

〈Q29〉旭川市の冬の暮らしを維持していくための冬期生活のあり方について ・「イ作業の効率化・省力化や各種支援制度の充実、市民・地域との協働により、除排雪費用の増加をできる限り抑えながら、現行の除排雪水準を維持した冬期生活を目指すべき」…67%	⇒ 市民の多くは、市民の負担となる<u>除排雪費用の増加はできる限り抑制しつつも、現行の除排雪水準の維持を望んでいる。</u>
---	--